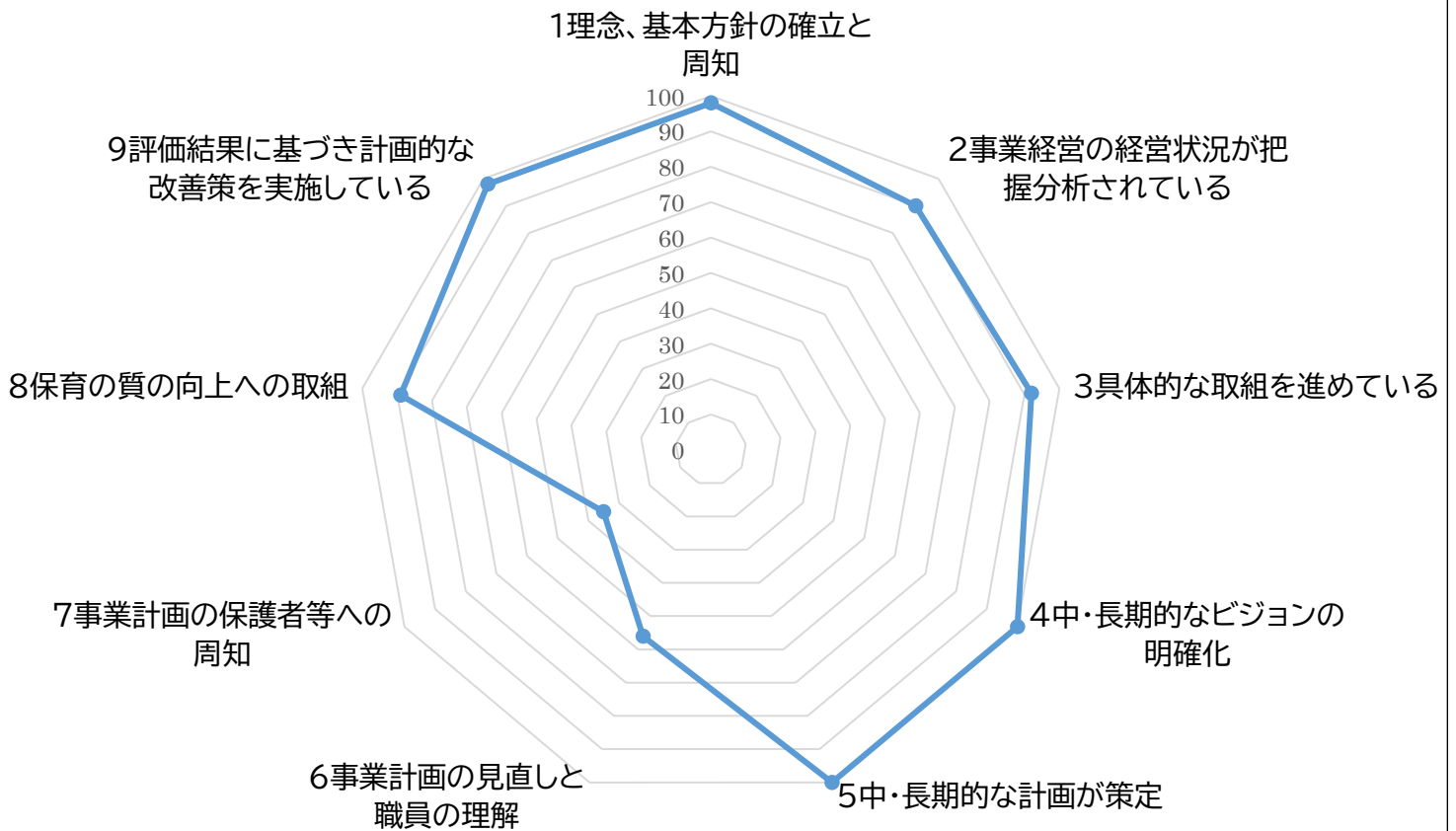


## I 福祉サービスの基本方針と組織



### ○高評価内容

- ・法人・保育所の使命や役割を反映した理念と、これに基づく保育に関する基本方針は明文化されていて、職員・保護者への周知が十分に図られているとの評価だった。
- ・保育所利用者の推移、地域性、経営状態を会議等で伝えた結果、昨年度より評価が上がった。
- ・「中・長期的なビジョンが明確化され、計画に基づき進められている」という状況を職員も把握している。

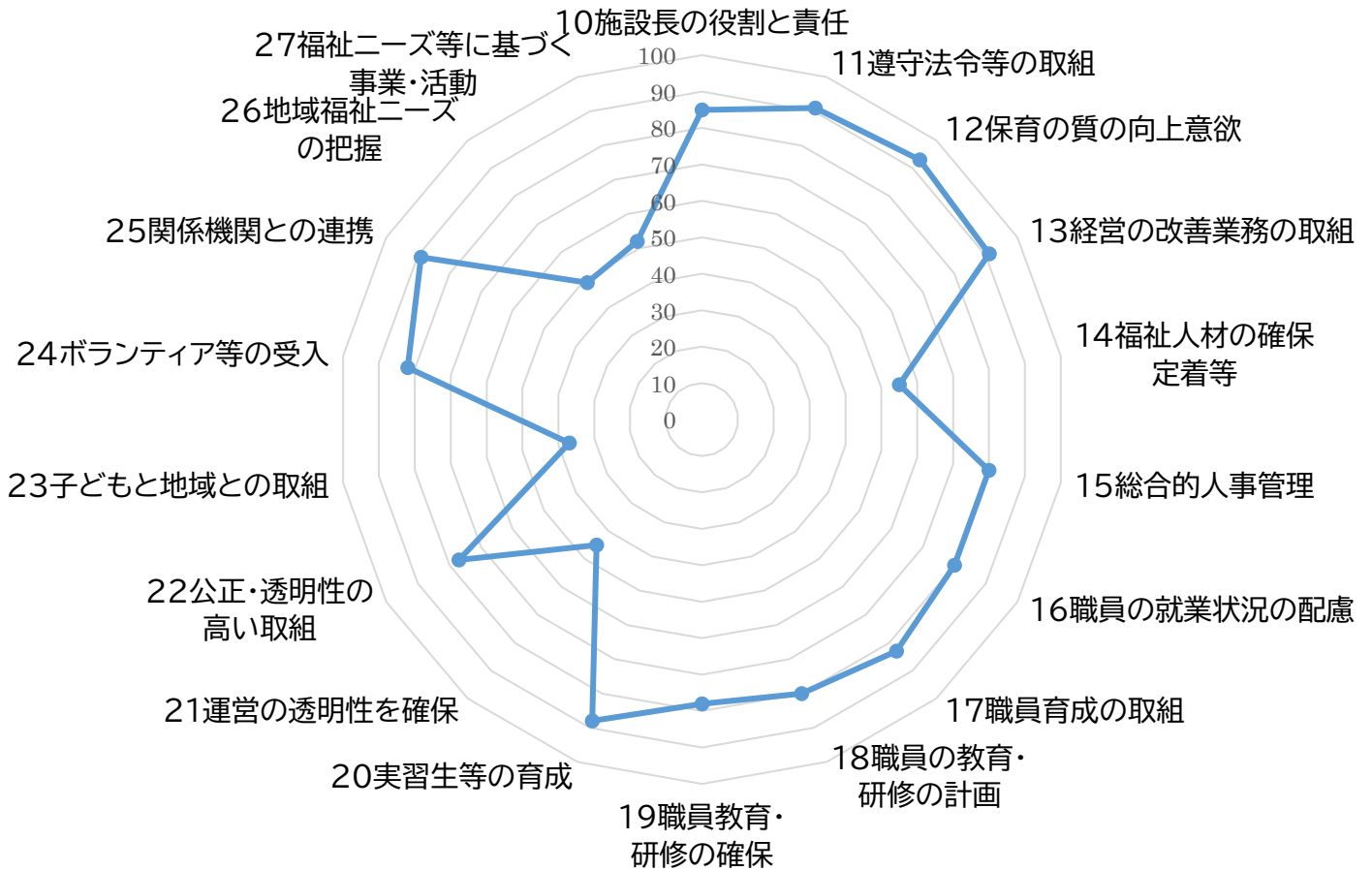
### ★分析後取り組みが必要な項目

- ・事業計画の職員理解・保護者周知が不十分

#### コメント

「事業計画・実績報告について、園内掲示・年度初めの父母会での説明に加え、要点をとらえ分かりやすい内容をICTで発信し周知します。」

## II 組織の運営管理



### ○高評価内容

- ・福祉サービスを提供する組織としての法令遵守の徹底は図られ、健全な運営がされている。
- ・人材育成方法は明確で経験年数毎の個人評価表を利用している事で人材育成のシステムは構築され職員の意識向上に繋がっている。
- ・年度初めにマニュアル研修等を実施し、関係機関との連携方法について理解した職員が増えた。

### ★分析後取り組みが必要な項目

- ・事業計画や事業報告・予算・決算の情報を公開しているが、方法や内容が十分ではないとの評価が多い。

#### コメント

「予算・決算の公開は運営の透明性には必要な為 情報の発信を進めます。」

- ・人材の確保・定着に関する具体的な計画が確立していない。

#### コメント

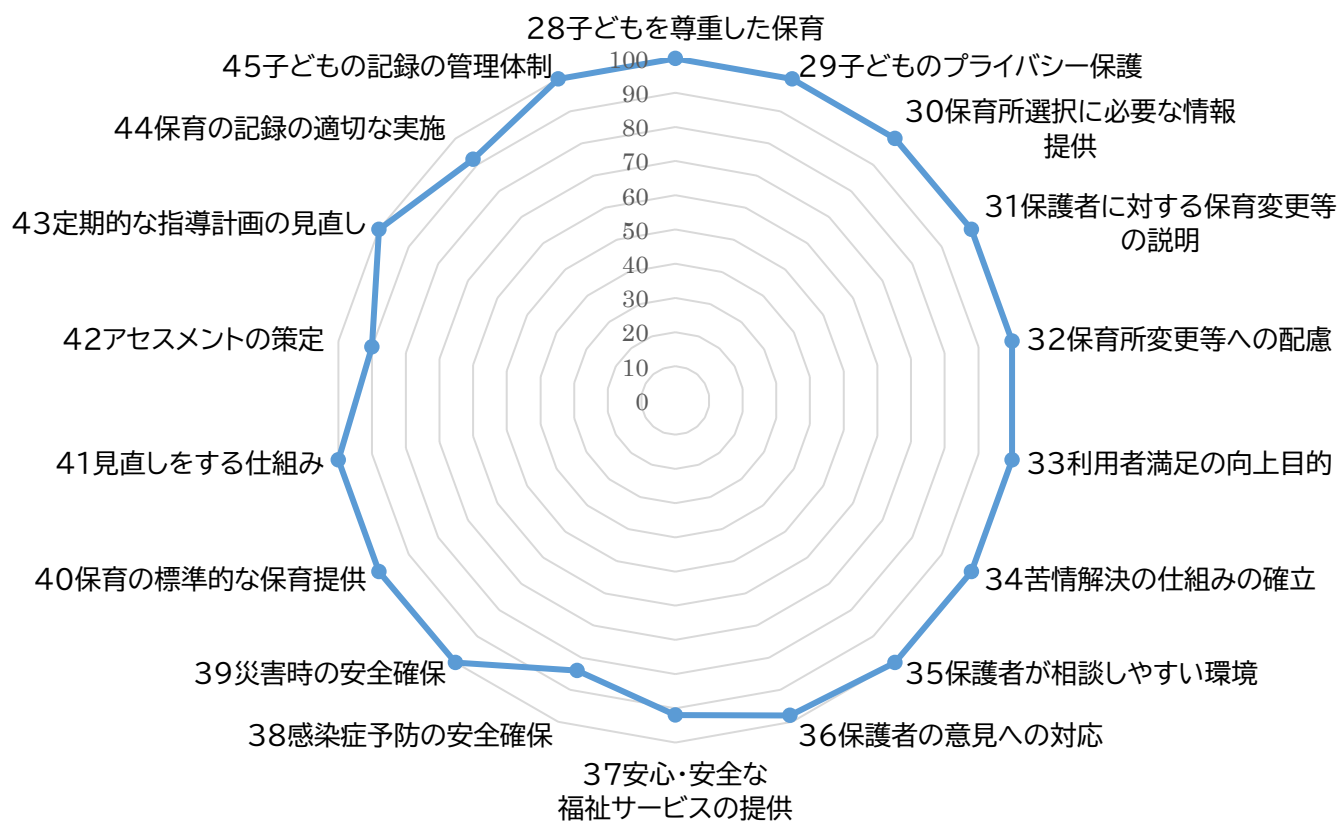
「保育の質を確保す為に必要な最低人数での運営が慢性化していたが、計画を立て人事管理及びチームとしての人員配置を進めます。」

- ・地域の福祉ニーズを把握する取り組みが十分ではない。

#### コメント

「支援センター利用者から情報を得たり、健診時の情報収集に努めます。」

### Ⅲ 適切な福祉サービスの実施



#### ○高評価内容

保護者への情報提供や ICT 利用開始にあたり、丁寧な説明を行い利用を開始してきた。それに加え、保護者の意見を吸い上げ、改善している事が利用者満足の上昇に結び付いている。コロナ禍、一斉送信メールを使用し、保護者への連絡を正確かつ迅速に行う体制を強化した事で児童及び家族の安全確保に繋がった。

#### ★分析後取り組みが必要な項目

・施設内でコロナ感染症発生を経験し、緊急時の子どもの安全確保について組織として体制整備が十分ではないとの評価だった。

##### コメント

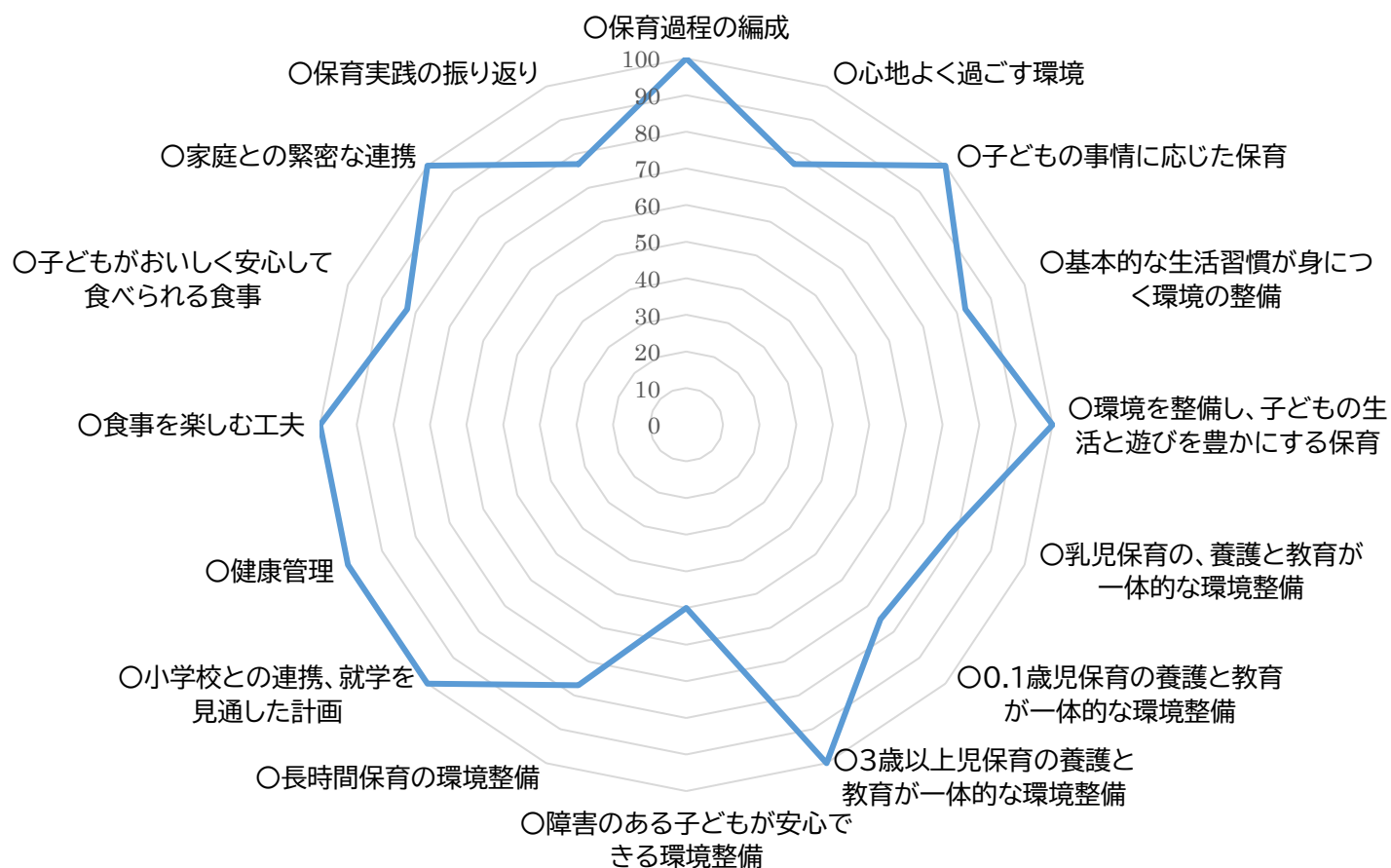
「発生時の保育体制については定めている。感染症対策研修時に職員に分かりやすく説明します。」

・アセスメントに基づくサービス実施計画の策定が少し低く出た。

##### コメント

「個別指導が必要な児童や家庭への記録や計画は「ケース記録」として残しているものの、現在は全児童の個別計画は通常の記録に留めており、これ以上の計画や評価はできない状況、施設によって評価のばらつきが生じている。施設長間で理解を共有して働きかけます。」

## IV 保育内容



### ○高評価内容

自発的な活動や遊びが充実するように環境設定してきた為、子どもが主体的に活動できたとの評価だった。また養護についても子どもを受け入れ配慮していると自覚できる職員が増えてきた。

### ★分析後取り組みが必要な項目

- ・障がいのある子どもが安心して生活できる環境整備と保育内容の配慮が十分ではない。

#### コメント

「療育機関との連携は深まっており、個別相談や療育訪問支援などを実施している。職員の障がいの理解や特別な支援方法の習得は必須な事から、研修等への参加を更に進めます。」

- ・保育を振り返り改善や専門性向上への取り組みが十分ではない。

#### コメント

「自己評価表の利用で必要な改善点の絞り込みは行われている。全施設間で共有し保育の改善を行い専門性向上に向けていきます。」